ASSETS OF OUR LIVES

≪確かな知識や教養を身につけ・豊かな心を育て・充実した人生を!!≫　2022年06月27日　第36巻08号

今回の原稿も、今年の２月のものです。重複した記事があるかもしれませんが、チェックしてください。一部最新のニュースも入れています。

下に書籍を紹介しているように、「環境破壊によって、このままではあと 100 年などとても生きられない」し、「ＳＤＧ‘ｓ」運動でとりあえずどうにかしようという動きもありました。ところが今はロシアとアメリカの第三次世界大戦が事実上始まってしまいました。そのため今の６月末の時点では「平和問題」が優先事項になっています。「ロシアに対する先進資本諸国による経済制裁」が悪い結果をもたらし、石炭火力発電の再稼働や原子力発電所の稼働などが世界中で検討されており、環境破壊による人類の消滅までの時間は、破滅的に短くなっています。あなた達は事柄の重大性がわかりますか？ロシアに対する経済制裁などは絶対にしてはならないのです。ともに協力しないと、もはや人類が存続できなくなるのです。平和そして環境問題は、同時に解決を図らないと、たとえ戦争に勝ったとしても、人類に残された時間はもう何十年もないのです！！

海鳥むしばむプラ添加剤

北海道大など国際チーム　地球規模で汚染

海鳥の胃から見つかったプラスチック片の例。

【上】プラスチックごみをたくさん食べた可哀想な海鳥の姿です。しかし今年の ASSETS で紹介していますように「人間は毎日キャッシュカード１枚分のプラスチックを、呼吸や食事で吸収しているのです」。上の海鳥の姿は将来の人間の姿なのです。

【下】戦争は当然のことながら、地球環境を守る努力をしないと、もはや人類は破滅するのです。国の利益よりも国を越えて協力する以外に方法はないのです。それなのに「経済制裁」等と言うは、ウクライナのために兵器を売って儲けようとするアメリカ合衆国の姿は、言語道断なのです!!

Commentary

COUNTRY VS. PLANET

気候変動対策に国家のエゴは邪魔

ヨシュカ・フィッシャー（元ドイツ外相）

JOSCHKA FISCHER

【上】何度でも繰り返し続けますが、ジョンレノンの「イマジン」の歌詞の世界が早急に実現しないと、もう人類は存続できないのです。経済的に強調する国家と、文化や言語や生活形態を守ろうとする、自由で民主的な個々の小さな地域社会という単位での世界の未来をイメージしませんか？上の NEWSWEEK の記事は、そのためにはまず国民国家がエゴ（自国の財産や時刻特有の文化や自由の考えを他国に押しつける事）をなくさないと、人類はもはや狭い地球の上では生きていけないのです。

重圧・葛藤 素顔のグレタさん

スウェーデン監督 見つめた3年間

ドキュメンタリー映画 あす全国公開

「見たまま描いた」

ネイサン・グロスマン

「グレタ ひとりぼっちの挑戦」より©2020 B-Reel Films AB. All rights reserved

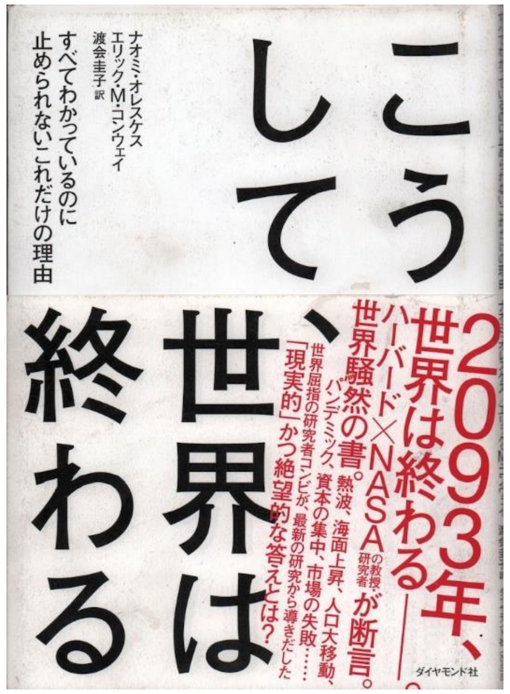
【左】地球環境を守ろうとするグレタ・トゥーンベリさんの姿が映画になりました。志成館にありますので見ませんか？とても悩んで努力されている姿に感動を覚えますよ。しかしこれに世界戦争がかぶってきたわけですから、一層自体は困難になってしまいました。と言うのは，天然ガスをロシアから輸入して環境を守ろうとする行動をしたら、ロシアの味方であると批判されるような欧米のメディアの状況になってしまったからです。

【右】平和の問題にしても（核兵器禁止運動に関わろうとしない事）環境問題にしても、日本の政治がとても無責任な状態にあることがわかっていただけますか。あなた達は、今の日本の贅沢をしてきた老人たちによる老害政治を早く変えないと手遅れになって、今では想像もできないような日本になるのです。脅しでも何でもありませんよ。**テスラモーターのイーロン・マスク氏は「日本は消滅する」と言明されているのですから。**

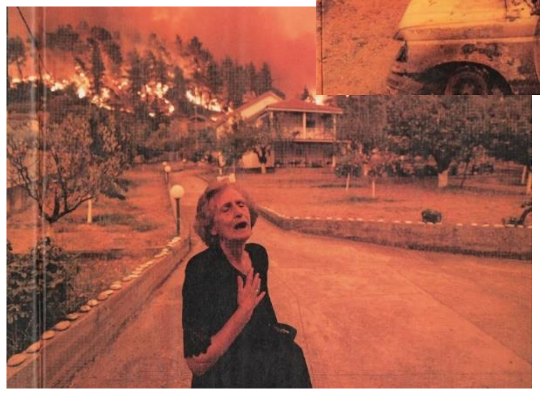
環境NGOから化石賞

「本日の化石賞」に日本を選んだと発表した「気候行動ネットワーク」のウェブサイト内の動画

【グラスゴー＝信田真由美】



【左】は、環境破壊で近い将来に人類は消滅するという本です。それよりも先に、核兵器で人類は破滅するようになってしまったのです。世界戦争の拡大については、近いうちに ASSETS を出します。原稿はすでにできていますよ。



カリフォルニア・オーストラリア・そしてこれはギリシャの大火の写真です。

現代が学べる　**志　成　館**

気候変動がもたらす危機を訴えてデモ行進する若者たち＝ブリュッセルで2020年3月6日

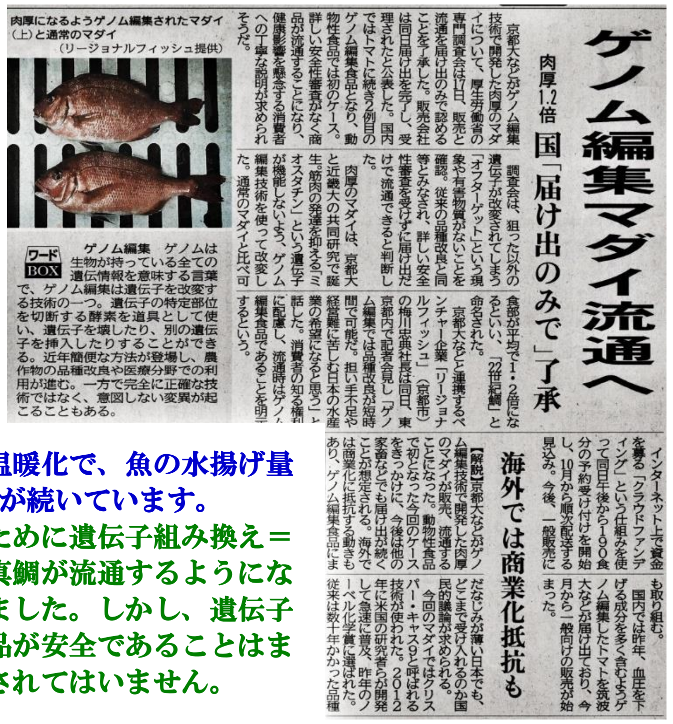
【下】海洋汚染と大気汚染は一体的に考えないと意味がないという記事です。当然ですよね。

【左】当然のことながら、あなた達若い世代は、世界中で真剣に気候変動を不安視しているということなのです。しかしグレタ・トゥーンベリさんが悩むように、大人たちが真剣に動こうとしないのです。

【上】【下】紙のカミソリができたという記事と、ファミレスで木のスプーンやナイフができたという記事です。「ないよりはまし」くらいの効果しかありません。たとえばアパレル＝衣服の世界での恐るべきプラスチックごみなどの方が、はるかに重大なのです。しかし国は繊維産業という大きくて強い組織には何もできないのです。

【左】広島長崎の被爆のあと、放射能を含んだ雨＝黒い雨が降りました。その雨で被爆した人たちも多くが死んでしまいました。そのような村は「短命村」と呼ばれて差別されてきました。だから戦後の救済が遅れているのです。映画も塾にあります。キャンディーズの（故）スーちゃん＝田中好子さんが主役です。

【下】同じようなことが、雨ではなく飲み水を通じての被爆が今後も100年以上続くであろうという記事です。ですから第三次世界大戦で、核シェルターの中で生き残ったとしても、いずれは被爆で死ぬということなのです。



【左】地球温暖化で、魚の水揚げ量に危機が続いています。
【右】そのために遺伝子組み換え＝ゲノム編集真鯛が流通するようになってしまいました。しかし、遺伝子組み換え食品が安全であることはまだ証明されてはいません。